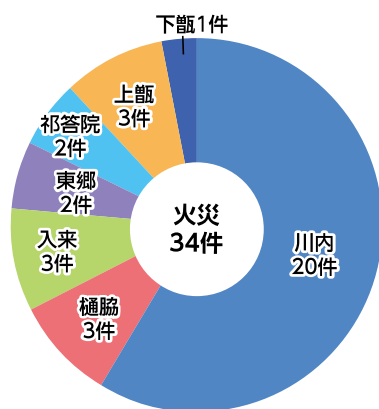
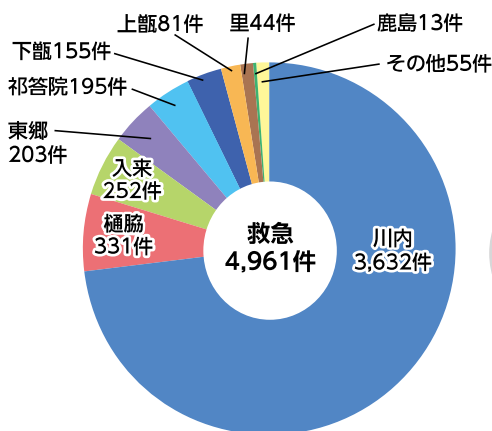
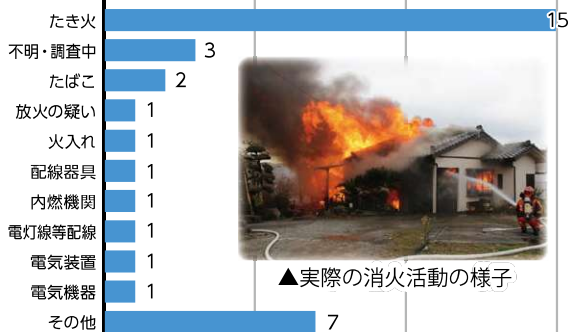


地域別
令和5年

火災・救急統計

前年比
7件減前年比
294件増

出火原因別



▲実際の消火活動の様子



救急事故別



▲緊急消防援助隊訓練の様子



火災は令和4年より7件減の34件で、おおよそ10日に1件の割合で発生しました。火災種別は建物火災14件、林野火災2件、船舶火災2件、その他火災16件で、出火原因は上のグラフのとおりとなっており、「たき火」が原因の火災が多くなっています。**たき火などの焼却行為は農作業に伴う軽微なものを除き、原則禁止されています。**また、焼却行為に係る消防署への届出は、火災の煙と間違わないようにするためのもので、焼却について許可す

るものではありません。

救急件数は令和4年より294件増の4,961件でした。1日に約13.5件の割合で発生したことになります。なお、搬送人員は4,342人で、令和4年より199人の増となりました。

大切な命を守るため、救急車の適正利用をお願いします。

消防車の紹介「支援車Ⅰ型」



◀車両の拡張の様子



▼車両の中の様子



支援車Ⅰ型は平成22年に消防庁から本市に配備された、大規模災害時に支援活動を行うための消防車両です。

地震災害などの大規模、長期化する災害現場に派遣された消防職員が、食事や睡眠、会議などを行う場を確保することができます。これまでに、東日本大震災や熊本地震などで支援を行いました。活動の際は、車両が拡張し、車内に大型空間を形成することができる特殊車両です。